



戸田ヶ原 レポート

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、一雨ごとに草が伸び、オギの草丈は大人の背よりも高くなっています。



チョウトンボ

6月にオギの上をひらひらと飛んでいました。体の大きなオニヤンマが飛ぶ姿も見られました。

サクラソウが結実

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地のサクラソウを6月に確認したところ、多くの株が種子をつけていました。こぼれた種子からサクラソウが増えていくことを期待しています。



6月中旬に花が咲き始め、これから見頃を迎えます。花の蜜を吸いにチョウがよく訪れています。

イヌマトラノオ



5月と6月の保全管理作業

5月21日と6月18日に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業を行いました。戸田ヶ原サポーターの方々に協力いただき、5月21日は園路沿いの刈り取った草の運び出し、6月18日は外来種のセイタカアワダチソウの抜き取り等を行いました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

アカスジカメムシ

園路沿いの緑の草の上で、赤と黒のストライプ模様が目立っていました。



夏の自然ふれあいクイズラリー

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地を散策しながら、生きものや自然に関するクイズに挑戦。みなさんの参加をお待ちしています。

開催日：7月20日(土) 雨天中止

受付時間：13:00～15:00(随時受付)

受付場所：彩湖・道満グリーンパーク内ピクニック広場

所要時間：クイズラリー 一周20分程度

参加方法：当日受付 参加費無料

※参加者にドライフラワーの材料に適したガマの穂をプレゼント(なくなり次第終了)。



戸田ヶ原自然再生の目標種

ミドリシジミ

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今回は目標種のミドリシジミを紹介します。

ミドリシジミは、オスのハネの表面が輝く緑色をしたチョウです。成虫は年1回、6月中旬から7月にかけて見られます。オスの成虫は、早朝と夕方にハネをきらきらと輝かせながら活発に飛びます。戸田市では、かつて生息していた記録がありますが、近年は確認されていません。ミドリシジミの幼虫が葉を食べるハンノキや成虫が花の蜜を吸うアカメガシワを植樹し、ミドリシジミの舞う林の再生を進めています。



オグルマ情報

4月下旬から5月上旬に芽を出したオグルマは、少しずつ葉を広げています。日当たりの良い場所を好む植物ですので、鉢は日向に置いてください。



戸田ヶ原サポーター活動予定

7月16日(火)の10:00～11:30に戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業(水辺のガマの刈り取りと運び出し)を行う予定です。参加希望の方は、事前に環境政策課までご連絡ください。



JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下笹目 行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩8分

